

9月定例会 市長説明

鍋谷市長が行った市長説明の中から、市民の皆さんに関わりの深い内容を抜粋してお知らせします。

問合せ 総務課
Tel 89・2113

■第3次能代市総合計画

現行計画の最終年度である令和9年度中の策定に向けて準備を進めています。

8年度は、市民アンケートや若者意識調査を実施するほか、市長との意見交換会やカフェミーティング、若者井戸端会議などを通じて、基本構想および基本計画のたたき台の検討を進めていきます。

9年度は、総合計画市民協働会議を設置するほか、市民の皆さんとミーティングを開催するとともに、議員の皆様へ策定状況を随時情報提供しながら、ご意見を伺っていきます。

■マーケティング手法の推進

各種施策においてターゲット層の詳細な分析や、適切なプロモーションなどを展開することで、より高い成果を求めるため、マーケティング手法を積極的に活用することとしています。

8年度は、県との連携や外部の専門家の知見を活かした研修などを通じて、庁内全体へマーケティング思考を浸透させ、職員の意識改革を図るとともに、移住定住や観光振興政策といった親和性が高い分野においては、実行可能な施策から試行的に取り組んでいきます。

加えて、9年度当初予算編成に向けた実施計画や次期総合計画の策定など、市政全般にわたり、マーケティングの考え方を取り入れるとともに、事業の立案段階や実施段階において、必

要に応じた助言や伴走支援を行う推進体制の構築を検討し、本市の課題解決に向けた施策効果の底上げを図っていきます。

■若者や女性にも選ばれ る地域づくりの推進

8年度は、若者の視点を取り入れながら地域の課題解決を図る、大学連携・ミライ創造事業や、地域の女性と企業をつなぐプラットフォームの構築に向けた、のしろ女性ワークス推進実証事業などに取り組んでいきます。

また、県と連携し、ワークシヨップや講演会、シンポジウムを開催することとしています。

まずは市役所が率先して様々な働き方の課題などに向き合い、理解を深めながら若者や女性にも選ばれる職場を目指し、その取り組みの輪を市役所から企業へ、

そして地域へと広がっていきたいと考えています。

■窓口の受付時間の短縮

市役所を訪れる9割以上の方が9時から16時30分までに市役所本庁舎1階の窓口を利用していることや、

証明書のコンビニ交付が増加している状況などを踏まえ、9年1月から、試行的に受付時間を1時間15分短縮し、9時から16時30分までに変更したいと考えています。業務の見直しや新規課題に対応する時間を確保することで、住民サービスの向上と職員の負担軽減の両立を図っていきます。

今定例会に提案された一般会計補正予算

■一般会計補正額	8億6,492万8千円
主な補正予算(歳出)の内容	
○マーケティング推進費	125万円
○住宅リフォーム支援事業費	2,000万円
○指定ごみ袋等管理費	1,755万8千円
■補正後の予算総額	334億5,637万9千円



※市長説明の全文は市ホームページに掲載しています。

